

第3章

論述の一部を説明する（選択問題）

ポイント！

- ・赤字を覚えながら読もう。
- ・マークまで読んだら、赤字を赤シートでかくしてテストしよう。

！ 設問を見る前に「**きちんと一度通して読み**」、論旨をつかんでおく。「単元別ファイナル第2章」を参照

！ 「論述の一部を説明する選択問題」の解き方

① 傍線部付近をもう一度読み、**何が話題になっているか**をとらえる。

② 付近から次の箇所を探す。

- ・傍線部を（**3 詳しく説明した**）箇所
- ・傍線部の内容の（**4 実例をあげている**）箇所
- ・傍線部に指示語（**5 あれ、それ、この**）などがある場合、それが指している箇所
- ・傍線部が例えの場合、（**6 何の例えかわかる**）箇所

見つけた箇所の内容と最も近い選択肢が答えになる。

③ 他の選択肢が（**7 誤っていること**）を確認する。

メモメモ

- ・わからないときは**ポイント**をもう一度確認しよう。

傍線部分「この問題」とあるが、筆者の述べる「この問題」とは具体的にはどのような問題か。次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

≪三重≫

ア 若オスが工夫をしてピーナッツ取りに成功すると、すぐにおとなメスに見つかって大騒ぎをされてしまうこと。

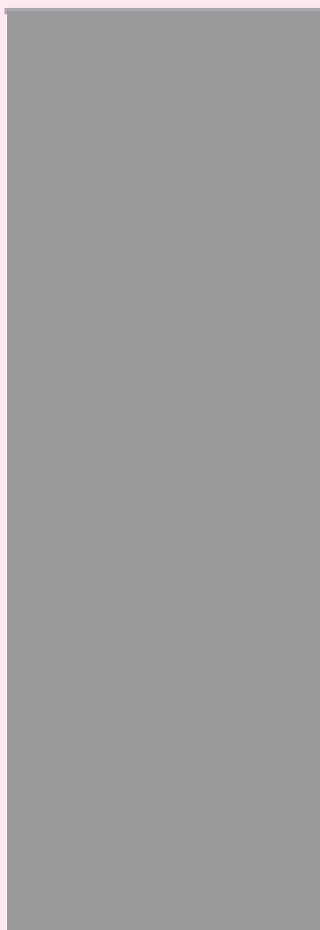
イ おとなメスが執拗に丸太の反対側に座り込んでピーナッツが落ちてくるのを待っているために、若オスはピーナッツを食べられないこと。

ウ おとなメスが穴に口をつけてピーナッツを吸い込む方法を編み出したために、若オスは穴からピーナッツを取ることができないこと。

エ 若オスに追い払われたおとなメスは、穴に細い枝を差し込んでピーナッツを取る経験を重ねることができないこと。

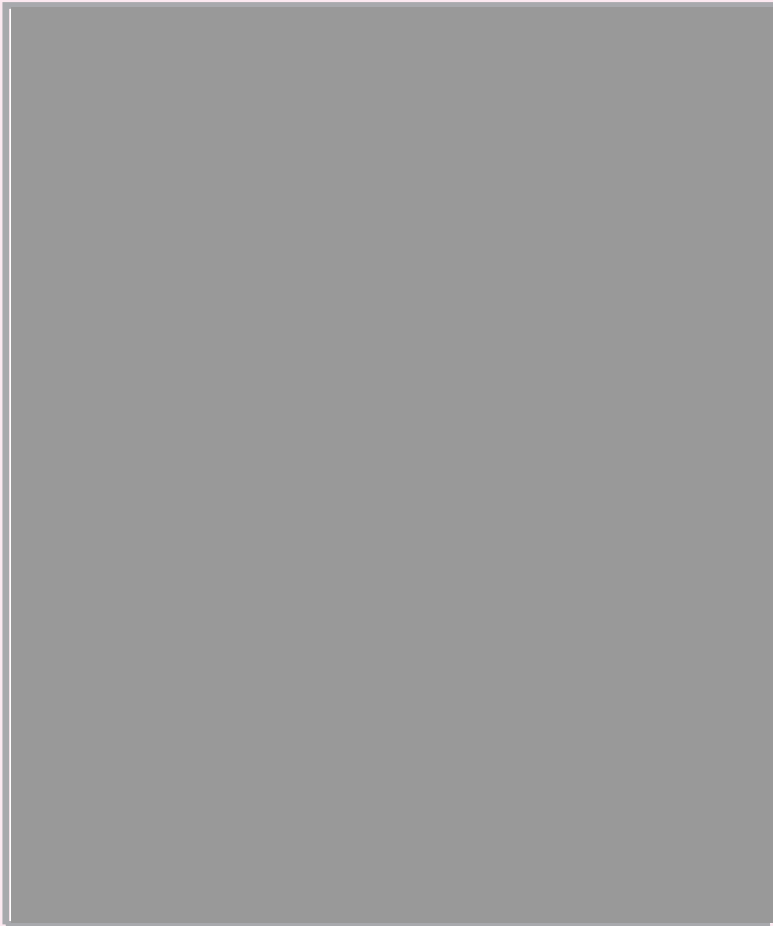
解答解説

傍線部（——）の前後をもう一度読んでみる。



① 傍線部付近では「チンパンジーが穴からピーナッツを取り出して食べる」ことが話題になっている。

② 「この問題」の「この」という指示語が指すものを探すと、1～3行目の「彼女にピーナッツをとられてしまう」ということを指しているとわかる。「彼女」が何者かわからないのでもう少しさかのぼってみる。



「彼女」というのが反対側に座っているチンパンジーだとわかり、「彼女」にピーナッツを取られることが「この問題」なので、答えはイ。

③ 他の選択肢が誤っていることを確認する。

ア：二つ目の引用の10行目で「大騒ぎ」しているのは若オスの方。

ウ：ピーナッツを吸い込む方法を思いついたのは若オス。

エ：おとなメスは枝でピーナッツを取ろうとしていない。

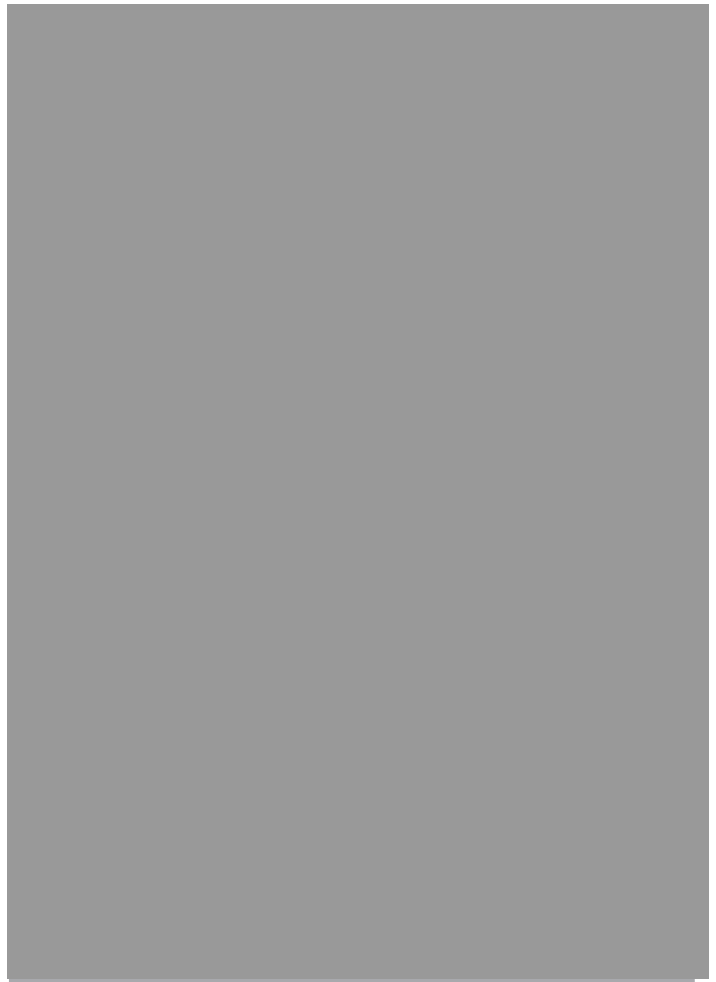
答え
イ



TRY

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(出題の都合上、本文を一部改めた箇所がある) (鳥取)

- ・ノートに解いて、答え合わせをしよう。
- ・まちがえた問題番号には赤ペンで×をつけておこう。



- (1) 「¹現状の科学で認識できないことが、必ずしもこの世に存在しないことを意味しない」とはどのようなことですか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
- ア この世に存在しないのであれば、現状の科学で認識できるはずがないとらうこと。
 - イ この世に存在していないものでさえ、現状の科学によって認識できるといふこと。
 - ウ この世に存在していることならば、現状の科学はすべて認識できているといふこと。
 - エ この世に存在はしているが、現状の科学で認識できていないこともあるといふこと。



(2) 「この領域」に含まれる内容としてあてはまらないものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 認識できる情報の増加により、科学の支配が及んでいる領域
- イ 科学的なのか非科学的なのか、判断を下せない未知の領域
- ウ 西洋科学の体系には収まらず、科学と見なされていない領域
- エ 将来、科学的真実になるものが存在している未知の領域

(3) 「石鹸の香り漂うような、清涼感溢れる考え方」という表現から、筆者のどのような思いがうかがえますか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 探究的な考え方に対する称賛
- イ 情緒的な考え方に対する疑問
- ウ 合理的な考え方に対する皮肉
- エ 倫理的な考え方に対する敬意

(4) 「⁴根拠のはつきりしないものを受け入れる」とありますが、これと相反する内容を表す部分を、傍線部4より後の部分から三十一字で抜き出し、はじめと終わりの三字を答えなさい。

～



EXERCISE

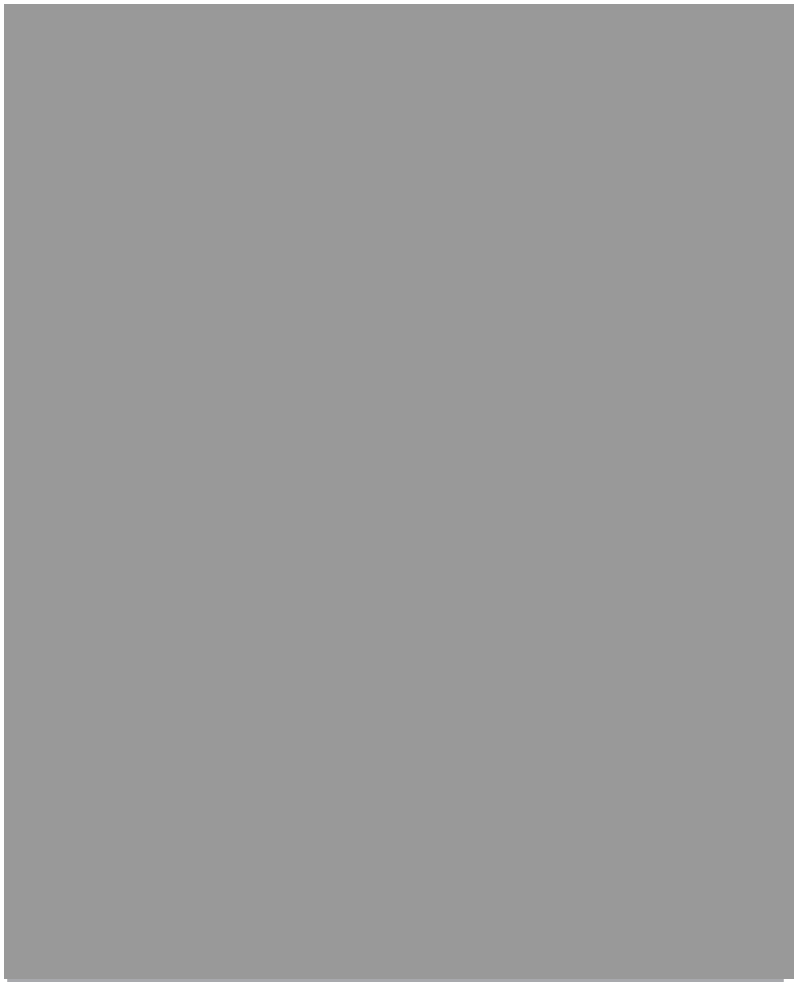
1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(兵庫)

・ノートに解いて、答え合わせをしよう。
 ・まちがえた問題番号には赤ペンで×をつけておこう。



(1) 傍線部①の本文中の意味として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア 作者への評価が正当かどうか。
- イ 作者を特定しやすいかどうか。
- ウ 作者の責任が重いかどうか。
- エ 作者が実在するかどうか。



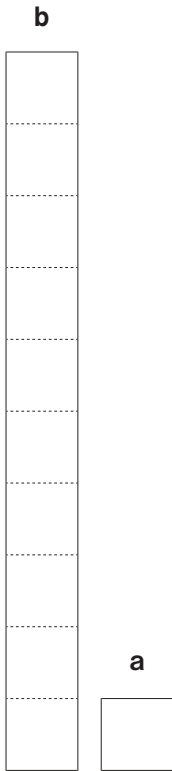
(2) 傍線部②の説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア チェックする人数にかかわらず、内容への信頼は保たれる。
- イ チェックする人の能力に関係なく、内容への信頼は保たれる。
- ウ チェックする人の能力が高いほど、内容への信頼が高まる。
- エ チェックする人数が多いほど、内容への信頼が高まる。

(3) 傍線部③について、筆者が考える「情報」と「知識」の関係を説明した次の文の空欄 a・b に入る適切なことばを、a はあとのア～エから一つ選んで、その符号を書き、b は本文中から十字で抜き出して書きなさい。

- a ことによって、手に入れた情報と既存の知識や情報とが
- b ように結びついたとき、情報は知識の一部となる。

- ア 複数の情報を一つのまとまりとして理解しようとする
- イ 情報技術を駆使して多くの情報を集めようとする
- ウ 集めた情報について一つの構造を読み解こうとする
- エ 多くの情報から有益な情報だけを取得しようとする



(4) 傍線部④とはどういうことか。その説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア コンピュータが大量の情報を体系的に整理してしまつたため、自分の力で情報を集めて整理する方法が習得できなくなる。
- イ 知識に基づく探索なしに目的の情報を得られるため、探索の過程で認識するはずの他の情報との関係に気づかなくなる。
- ウ 容易に情報が入手できる環境に過度に慣らされることによつて、ネット検索や AI を用いた情報の探索さえしなくなる。
- エ 目的の情報を探してよつとする意識がなくても目的が達成されることで、知識を身につける意義が感じられなくなる。

2 次の傍線部のカタカナを漢字で書きなさい。

- (1) 開国してポウエキが始まつた。
- (2) あなたのタントウする役割は重大です。
- (3) ファールボールをサけられなかつた。
- (4) 友人と激しいギロンになつた。
- (5) 最新キノウを備えたスマホ。
- (6) 子犬が寒くてミツチャクしてきた。
- (7) 妹は自分のヨウシを気にしている。
- (8) 一人だけ異論をトナえる。
- (9) 早くセンソウが無くなればいいのに。

第2回【物語】心情を問う問題①



TRY

次の文章を読んで、あとの(1)～(3)に答えなさい。〈青森改〉

終了時刻

..

分

制限時間
16分



50点



(1) ① 取り返しのつかないこととありますが、どのようなことを表しているかを、「祐也」の思いをふまえながら、次のようにまとめました。□に入る最も適切な語句を、本文中から**七字**でそのまま抜き出して書きなさい。(15点)

「祐也」は、将棋の研修会に入ってから、勝てない苦しみでおかしくなり、その状態が続けば□になるといふこと。

(2) ② それでも最後まで最善を尽くしてきなさいとありますが、このときの「父」の心情として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。(10点)

- 1 無理だとあきらめることは勝負に影響を及ぼすので、「祐也」を奮い立たせようと怒鳴りつけている。
- 2 「祐也」が挽回できそうにないことはわかっているものの、将棋に向き合い全力で臨んでほしいと願っている。
- 3 連敗することは「祐也」の成長にとって必要であるため、現実の過酷さを受け入れさせようと突き放している。
- 4 「祐也」が厳しい状況にあることを理解しつつも、対戦相手を打ち負かしてほしいと躍起になっている。

--

(3) ③ すぐには気持ちを切り換えられないだろうとありますが、ある生徒が、「父」の気持ちについて次のようにまとめました。□に入る具体的な内容を**三十五字以内**で書きなさい。(25点)

「父」は棋士を目ざしている「祐也」に対して、□と願っている。



EXERCISE

次の文章を読んで、後の(1)、(2)に答えなさい。(島根改)



終了時刻

..

分

制限時間
16分



50点

(1) 傍線部①「先生は怒っているとも、驚いているともつかない表情をしている。」とあるが、このときの後藤先生の心情として最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。(15点)

ア 指示どおり正確に歌声を響かせるだけの嘉穂を見て、これ以上の成長は見込めないと才能の限界を感じている。

イ 嘉穂が予想どおり大きな才能を秘めていることがわかり、才能を見いだす自分の力の確かさに自信を深め満足している。

ウ たまたま歌わせてみただけの嘉穂に、実はかなりの才能が眠っていることに気づき、強く嫉妬している。

エ 初めてにもかかわらず、自分の導くとおりに気持ちよく声を出す嘉穂に、恐ろしいほどの大きな才能を感じている。

(2) 傍線部②「あたしね、人工衛星になったみたいない気分になってるの。」とあるが、これは博美おばちゃんのだのような心情を言い表しているのか。三十字以上、四十字以内で説明しなさい。(35点)
